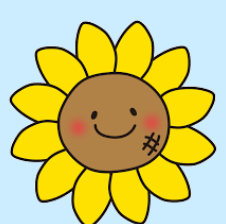


夏休み親子森林教室in中通

令和8年7月25日（土）東北森林管理局で、「山の日」を記念して「夏休み親子森林教室in中通」を開催し、小学生を中心とした子どもたち9名とその保護者の方々に森林教室・木工製作などを体験していただきました。



森林教室

森林教室は、クイズを出題し「秋田県の木は？」、「カモシカってシカの仲間？ウシの仲間？」などのクイズに手を挙げて答えてくれました。

また、森のすごいところを知ってもらうため、グラウンドの土と森の土を実際に使って実験しました。雨に見立てたペットボトルの水をそそぐと、グラウンドの土からはすぐに茶色い水が流れ出た一方で、森の土は水がゆっくりと染み込み、やがて透明な水となって出てくると参加者からは歓声が上がり、森の土はたくさんの水を蓄えてきれいな水にする働きがあることを伝えることができました。

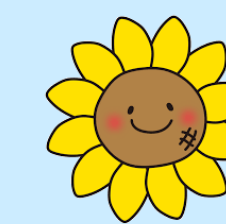
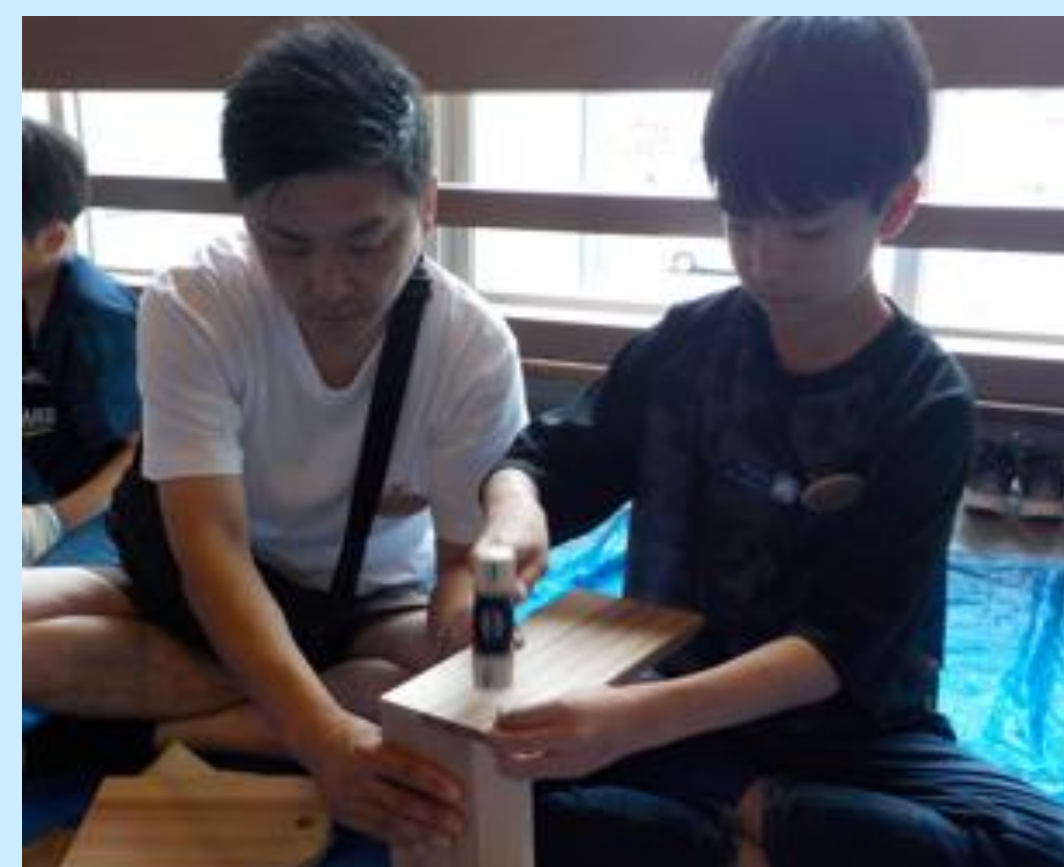
この他に、森のつくり方について勉強してからカードゲームZORING（ゾーリン）を使って、対戦しながら森づくりを学びました。天敵カードや自然災害カードをどのタイミングで出すかの心理戦も加わり、保護者の皆さんも一緒になって白熱！あちらこちらから歓声が聞こえ大盛況となりました。



木工製作・ふれあい体験

木工製作では、秋田スギの間伐材を使った木製ラック作りに挑戦！保護者の皆さんの手を借り、金づちを使って組み立てていきます。子どもたちは金づちの使いが上手く、あっという間に完成させていました。仕上げに木の実などを使って飾り付けし、自分だけのオリジナル作品が出来上がりました。

ふれあい体験コーナーでは、「ドローン飛行疑似体験」、「昔の木を伐る道具」、「木の香り」、「動物・鳥の声」、「木の重さ比べ」、「缶バッジ製作」など、さまざまな体験をしてもらいました。特に「木の重さ比べ」コーナーでは、木の種類によって重さが違うことに驚いていました。実際に手に持って比べることで木の特徴について楽しみながら学んでもらうことができました。



最後に

現在休館中の仁別森林博物館のボランティア案内人の方々にスタッフとして参加していただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

また、仁別森林博物館までのアクセス林道が開通となった際は、ぜひ多くの皆様に仁別の森へ遊びに来ていただけるよう、イベント内容をさらに充実させていきたいと思います。



東北森林管理局技術普及課
秋田森林管理署